

関東地区 内航船社代表者との懇談会を開催

内航海運の現状と課題で意見交換 海技人材をいかに確保するかがテーマ

11月26日、海員組合関東地方支部3階大会議室で、内航船社各社代表と組合代表者による懇談会を開催し、会社側は内航船社は19社と船主団体内航労務協会の計39人、組合側からは松浦満晴組合長以下17人が出席した。懇談会では「内航海運の現状と課題および船員の確保育成など」を議題として意見交換を行い、若手船員の定着率や、女性船員の居住環境への取り組みなどについて意見交換を行った。

はじめに松浦満晴組合長が混迷する世界情勢、現在の国内輸送の景況などに触れた上で「少子高齢化が急速に進む中で、喫緊の課題である後継者確保育成や海技人材をいかに確保するかがテーマとなっている。また運賃や用船料についても議論がなされており、国に対して働きかけを強める必要がある。さらに、船員の働き方改革についても議論がなされており、船員の労働環境改善に向け、労使一体となり取り組んでいくことが求められている。本日は、内航海運の現状や船員確保育成について各社の現状や問題などの報告説明を受け、忌憚のない意見交換を行い、実りある会議にしたい」とあいさつした。

続いて会社側を代表し、福田和志船主団体内航労務協会会長（NSユナイテッド内航海運株式会社代表取締役社長）が「国内物流の4割を担う内航海運は、後継者不足問題において非常に厳しい状況に置かれている。各船社の企業努力で、情報通信インフラや居室設備の改善など、船員にとって働きやすい環境づくりに取り組んでいる。しかしながら、諸物価の高騰や、輸送コストの大幅な増加などで、船社を取り巻く環境は非常に厳しいものとなっている。本日は労使の関係を越え、現在内航海運が置かれている問題について共通認識を図り、有意義な懇談会にしたい」とあいさつした。

懇談会では「内航海運の現状と課題および船員の確保育成など」を議題として、意見交換を行い、各船社からは▽新規・中途採用者の定着率▽各社の状況▽船員の働き方▽スターリンクの設置状況▽女性船員の採用および船内設備・環境▽船員養成施設の定員減について▽連立政権交代に対する期待▽違法なリクルート業者について一など、各社の現状と課題について報告や問題提起がなされた。

また各社から、低軌道衛星通信スターリンク設置による若手船員定着率への影響や、女性船員の居住環境についてなど、各社の取り組みに対する意見が多く出され、労使で忌憚のない意見交換を行い、最後に松浦組合長が、活発な意見交換ができ、次年度以降も本懇談会を継続して開催していきたいとの考えを伝え、懇談会を終了した。

「海員日より」